議 事 録

会 議 名	令和6年第4回西枇杷島警察署協議会(定例会)
日時・場所	令和6年11月21日 (木) 午前9時00分から午前10時30分までの間
	西枇杷島警察署 講堂
出席者	1 委員
	丹羽宏明会長吉村雅夫副会長楢本雄介委員河野ともえ委員猿渡久人委員石丸昌弘委員丹羽幸雄委員後藤鈴明委員
	以上8名(定数10名)
	2 警察署員 渡邊署長 谷口副署長 大矢警務課長 田中会計課長 高松生活安全課長 田中地域課長 小嶋刑事課長 荻田交通課長 岩田警備課長 以上9名
	3 有識者等 なし
諮問事項等	年末に向けての交通死亡事故抑止対策
答申等の概要	1 効果的な安全教育の推進
	2 危険箇所を少なくする交通規制の推進
	3 交通指導取締りの強化
その他	令和7年第1回警察署協議会は、令和7年2月初旬に開催予定

会議の経過及び発言の要旨

- 1 会長挨拶
- 2 署長挨拶
- 3 各種報告(署長説明)
 - (1) 令和6年10月末現在の管内の犯罪発生状況
 - (2) 令和6年10月末現在の交通事故発生状況
- 4 前回の答申に対する具体的施策の推進状況(警備課長説明)
 - (1) 諮問事項

災害警備対策

- (2) 答申事項
 - ア 自治体、関係機関、企業と連携した災害対策の推進
 - イ 他の機関と連携した災害対策訓練の実施
- (3) 施策推進状況
 - ア 答申事項アについて
 - (ア) 各種イベント等における災害関係広報の実施
 - (イ) 代替指揮所、非常食提供等の災害協定の締結
 - イ 答申事項イについて
 - (ア) 自治体と連携した水防訓練、防災訓練の実施
 - (イ) 消防との災害対策訓練の実施
- 5 諮問
 - (1) 諮問事項

年末に向けての交通死亡事故抑止対策

(2) 諮問事項の設定理由

記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨

- ア 愛知県内の交通死亡事故情勢は悪く、令和元年以降、全国ワースト1 位を返上しているものの、常にワースト上位になっていること。
- イ 10月は自転車利用者、11月は歩行者の死亡事故がそれぞれ年間最多月 であり、これらの死亡事故抑止が年末に向けての喫緊の課題であること。

6 協議

- 委員 ・ 会社内でも交通事故には高い関心を持っており、社員の運転適性 を調査するため、ドライブシミュレーターを実施している。
 - ・ ドライブシミュレーターを実施することで、自己の運転癖を理解 させることもできる。
 - ・ 今年は管内の交通死亡事故が1件と他の地域と比べて発生を抑え られているが、それはどのような取組による効果か。
 - 11月からの自転車に関する道路交通法改正について、管内ではどの程度の違反を認知しているのか。
- 警察 ・ 幅広い年齢層に対する交通安全教育、事故多発地点に対するゾーン30や信号サイクルの見直し等の規制、裏道等における可搬式速度 違反自動取締装置等を使用した取締りの3点を重点強化している。
 - ・ 当署管内での検挙はないものの、県内では自転車利用者による酒 気帯び運転の検挙の報告が上がっている。
- 委員 ・ 清洲城前の県道を渡ろうとする人が多く危険であるため、う回を 促す案内や横断歩道の設置を検討した方が良いと思う。
 - ・ 清須市の駅のロータリーでは通勤通学時間帯に横断歩行者と自動 車が混在しているため、対策が必要ではないかと思う。

記録者 | 警務係長

会議の経過及び発言の要旨

- 委員 ・ 駐車場内ではあらゆる方向から歩行者や自動車が出てくるため、 危険予測が難しいと思う。
 - ・ 歩行者、自動車ともに相手が止まってくれると思うことなく、自 分で自分を守るという高い意識を持つことが重要である。
- 委員・警察外部に出向いた交通安全の講習はやっているのか。
- 警察 ・ 老人クラブや各種学校、企業等に出向き、あらゆる機会に講話を 実施している。
- 委員 ・ 子供に対する交通安全の一環として、通学路の道路や標識を適正 に管理することが重要であると思う。
 - ・ 生活道路における交通事故を防止するため、ガードパイプの設置 や必要な道路標示をしていく必要がある。
- 委員 ・ 店舗前の道路にカーブミラーと標識を設置したことにより歩行者 が必ず一旦停止するようになった場所がある。
 - ・ 速度規制だけでなく、管内各所においてこのような様々な工夫がをしていくことが重要である思う。
 - ・ 自己の交通事故防止として、車庫入れが苦手であるため、視認性 が悪くなる夕方以降は自動車の運転をしないようにしている。
- 委員 ・ 大きな事故は小さな違反や不注意が原因で発生しており、小さな 違反は小さな取締りや啓発活動によって防止できると思う。
 - ・ 取締り現場を見たり自らが警告を受けることで、次は気を付けよ

記録者 | 警務係長

会議の経過及び発言の要旨 うという心理が働くため、地道な取締り活動等をコツコツと行って いくことが重要である。 7 答申 (1) 効果的な安全教育の推進 (2) 危険箇所を少なくする交通規制の推進 (3) 交通指導取締りの強化 8 連絡事項 次回開催は、令和7年2月初旬に実施予定とする。

記録者 警務係長